



舛次崇・富塚純光
2人展



視点と視線

2021年9月24日(金)～11月13日(土)

甲南大学ギャラリー・パンセ(甲南大学5号館1階)

開館時間 月～土 9:00～18:00、日・祝 9:00～17:00

会期中無休/入場無料

Galerie
ギャラリー・パンセ
Pensee

<アクセス>

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

阪急神戸線岡本駅より西へ徒歩10分、JR神戸線摂津本山駅北口より北西へ徒歩12分

※ 駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。

お問い合わせ先 078-435-2572(担当教員:服部) 078-435-2675(文学部事務室)



甲南大学では毎年、国内外で活躍する美術家を招いて展覧会を行っています。この展覧会の企画・運営は、博物館実習生が中心となって取り組んでいます。今年は、世界各地で作品が展示される国際的な美術家である舛次崇(しゅうじ・たかし)氏と富塚純光(とみづか・よしみつ)氏による展覧会を開催いたします。

1974年生まれ舛次崇氏と1958年生まれ富塚純光氏は、ともに西宮市の福祉事業所を母体として行われている「すずかけ絵画クラブ」で創作活動を始めました。その作品は、1990年代末頃から、日本各地の公立美術館や各種のアートイベントで展示され、2000年代後半からはヨーロッパ各地の美術館でも幾度も紹介されてきました。「アウトサイダー・アート」と呼ばれる社会的・精神的に美術のメインストリームから外れた場所で創作を行う創造者たちの作品を扱う美術館としては世界で最も著名かつ権威があるローザンヌ市のコレクション・ドゥ・ラール・ブリュットにも作品が収蔵されています。

目の前の対象物を凝視し、物体の本質に迫るような禁欲的な静物画を描く舛次氏と、過去の記憶を織り交ぜた独創的な物語を軽やかな筆触で饒舌に描く富塚氏は、作風こそ対照的ですが、ともに障害のある美術家としては日本を代表するパイオニア的な存在です。本展では、壁面を増設してリニューアルしたギャラリー・パンセの記念すべき最初の企画展として、二人の代表作約20点を展示します。

1974年生まれ、2021年没。兵庫県出身

近年の主な展覧会:

- 2015「ART BRUT JAPAN SCHWEIZ 巡回展」(グギング・ミュージアム、オーストリア)他
「生命の微滋質とアール・ブリュット」(滋賀県立近代美術館)
「君は手ぶらでやってきたvol.3」(阪急西宮ガーデンズ)
- 2017「KOMORBI」(フランス国際現代芸術センター、フランス・ナント)
- 2019「知られざる美のかたち」(バンコク芸術文化センター、タイ・バンコク)
- 2020「あるがままのアーティスト一人知れず表現し続ける者たち」(東京藝術大学大学美術館)
- 2021「舛次崇—静かなまなざし〜」(兵庫県立美術館ギャラリー棟3F)

しゅうじ・たかし

舛次崇

とみづか・よしみつ

富塚純光

1958年生まれ。兵庫県在住

近年の主な展覧会:

- 2015「生命の微滋質とアール・ブリュット」(滋賀県立近代美術館)
「君は手ぶらでやってきたvol.3」(阪急西宮ガーデンズ)
- 2018「アール・ブリュット 日本とスウェーデン」(エズウィック・コンストハル、スウェーデン)
- 2019「アラワシの詠」(はじまりの美術館、福島)
「知られざる美のかたち」(バンコク芸術文化センター)
- 2021「レターズ」(東京都渋谷公園通りギャラリー、東京)
「富塚純光—かたりべの記憶—」(兵庫県立美術館ギャラリー棟3F、兵庫)



木製らくだとソウと植木鉢植物



かごと造花



たまねぎIII



小学校1年生時代の日記



あいざつファイト百獣の王物語2

関連イベント

岩下徹 即興ダンス&トークイベント 10月17日(日)13:00~14:30

即興ダンスの第一人者である岩下徹氏が、作品からのインスピレーションによるダンスパフォーマンスを行います。アフタートークでは、あとりえずすずかけで二人に伴奏して来られた三栖香織さんも交えて作品の魅力を語ります。

ゲスト 岩下 徹(即興ダンス)

三栖香織(すずかけ絵画クラブ・あとりえずすずかけ)

聞き手 服部 正(甲南大学文学部)

会場 甲南大学5号館 1階 511教室(ギャラリー横)

先着80名(完全予約制・先着順)・聴講無料



予約フォームへはこちらのQRコードか、甲南大学WEBサイトからアクセスしてください。

岩下徹

1957年東京生まれ。国際的な舞踏カンパニー<山海塾>舞踏手として多くの公演に参加。ソロ活動では<交感(コミュニケーション)>としての即興ダンスの可能性を追求している。滋賀県の湖南病院(精神科)にて「ダンスセラピーの試み」を継続実施中。



写真:清水俊洋